



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第49巻第  
2号)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第49巻第2号). 泌尿器科紀要 2003, 49(2): 130-130

ISSUE DATE:

2003-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/114905>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
  - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円、英文は6,500円、超過頁は1頁につき7,000円、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
  - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円、6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

#### Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.  
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

#### 編 集 後 記

教授に就任したての3年前の話である。会議で夜遅くなって、翌日手術予定の患者さんの部屋を深夜に訪れたことがあった。私としては患者さんを元気づけるために訪室したのだが、「先生、こんなに夜遅くまで、いったい何をしていますんですか。早く家に帰ってゆっくり休んでください。そして明日は完璧な体調で私の手術に望んでください。」と、ある意味怒られたことを思い出した。

先日、京大病院で安全管理に関するセミナーが開かれ、航空業界の安全管理を手がけたことのある講師の講演を聞いたときのことである。その中で、「パイロットが14時間連続勤務の後、すぐ次のフライトを行わなければならないとしたら、乗客はそれを望むか？」という話が出た。私は、疲れ果てたパイロットに操縦桿を握ってもらいたいとは思わないし、睡眠不足の外科医に手術をしてもらいたいとも思わない。しかし、現実には、睡眠不足で疲れ果てた外科医が手術をし、過激な勤務でもうろうとした研修医や看護師が術後管理をしているのである。そして最も大きな問題は、患者さんがその危うさを実感していないことである。

この危うい現状をどう社会（患者さん）に訴えていけば良いのだろうか。我々医療従事者から訴えるのは、どうも気が引ける。何か自分の至らなさを弁解しているように感じてしまうからだ。しかし、誰かが慢性疲労の医療従事者のために、声をあげなければならない。明日を、我々にとっても患者さんにとっても良い日にしたいと思う。「GOOD LUCK !!」。

(小川 修)

---

泌尿器科紀要 第49巻 第2号      2003年2月25日 印刷      2003年2月28日 発行  
 発行 小川 修      顧問 吉田 修      発行所 泌尿器科紀要刊行会  
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100  
 FAX (075) 752-0190

http://web.kyoto-inet.or.jp/people/acta\_uro/index.html  
 印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入

---